

平成 26 年度第 1 回中央区地域公共交通検討会議 要旨

日時	平成 26 年 11 月 27 日（木） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分	会場	市役所 5 階 全員協議会室
	○中央区地域課から、中央区生活交通改善プラン（案）について資料に基づき説明。		
質疑・ 意見等	<p>中央区生活交通改善プラン（案）について</p> <p>○新潟島に循環バスを走らせる会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市長選挙は BRT 反対の立候補者の得票が多かったが、これは市民としては連節バスは いらないと言っているんじゃないかと思う。これに対する新潟市の考えをお聞きしたい。 ⇒BRT、新バスシステムに関しては、まだどうしてもお伝えしきれていない部分という のがあり、その中での反対が多いというようなところも多少あるかと思う。今回 5、 300 人程度の方を対象に、まずどういったところに不安を持たれているとか、懸念を持 っているかをもう一度お聞かせいただくための反復型の意向調査を現在進めている。こ の意向調査を行うなかで、意識の変化をみさせていただきたい。できるだけご納得いた だけるよう情報をお届けしながら、平成 27 年度夏前の開業を目指して引き続き作業を 進めていきたい。【市】 ・5、300 人の方にアンケートをとってというお話があったが、BRT の導入について一旦 中断をして、市民の声をもっと細かく、5、300 人ということではなくもっと町内単位 等で細かく意見を聞くことが必要だと思う。 <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの有効利用について、例えば三越周辺のタクシー乗り場が乗りやすかったが、 乗りにくい場所に移ってしまった。かえて住民から苦情が出ているのが現実ではない かと思う。これが公共交通の改善点ということであれば間違っているような気がするが この点についてお聞きしたい。 ⇒タクシーの乗り場が有効に活用されていないという点については、昨年度のこの会議の 意見を踏まえてプランに入れさせていただいた。その他の部分についても意見がいただ ければしっかりと反映させていきたいと思う。【市】 <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この半年間はコミ協に対して、新バスシステムについての説明がない。説明不足を解消 するために、説明する会が必要だと思う。 <p>○中央区自治協議会委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイカーは公共交通機関ではないが、60%も利用している重要な交通手段。マイカー交 通も円滑に行くよう、かつ公共交通とうまくリンクさせるにはどうすればいいか。パー ク&ライドなど。そういう観点が欠けていると思う。また、前回示されたたたき台には 道路整備という項目があったが、今回はそれがなく、自動車道路の整備という観点が非 常に薄くなっている。この点についてお聞きしたい。 ⇒過度にマイカーに依存しないというような方針はあるが、ゼロにするには現実的に難し いので、公共交通とマイカーが連携していくというのは視点の一つとして必要だと思 う。このプランでは結節機能の向上を課題として入れており、そのための環境の整備を していくことについて基本方針に入れている、公共交通機関同士の連携のみではなく、 パーク&ライドなどによる公共交通機関とマイカーの連携というご意見については参 考にさせていただきたい。【市】 ・新潟市の重要なキーである萬代橋から駅を通過して鳥屋野湯に行く幹線を公共交通だけで 独占するのは、偏った考え方。配慮してほしい。 <p>○新潟ハイヤータクシー協会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシーの乗り場について周知不足は間違いなが、利用者の希望する場所がないから 利用されない。利用者の形態に合わせて、きちんとした形で整備されていかなければ ならないし、今ある乗り場についても活用されていかなければいけないと思う。 		

・超高齢化が進んでいる中央区では、まちの活性化、住民の活性化についてバスだけでは解決できないものが十分ある。乗合タクシーやデマンドタクシーなど、タクシーを活用した住民の足の確保をいうものを視点として計画に入れてほしい。

・このプランは、公共交通機関のバランスの良い配置を目指すものと思っている。地元の住民がどういう配置を望んでいるのか、そこをうまくバランスをとって公共交通機関としてバスとタクシーがバランス良く配置されていくのか、その視点が大事。

⇒利用者の方からしても榎谷小路に乗り場があったほうが便利だというご意見がある一方で、その榎谷小路上の交通機能がスムーズに図られなければならないというような問題もある。交通機能が十分に図られながらも、その利用者の方々が利便性の向上を図られたり、タクシーの利用ができたり、そのためにはどうしたらいいかということも考えていかなければならない。【市】

○中央区自治協議会委員

・新バスシステムの運行者である新潟交通として、こうしようと思っていることとか、市民にはこういう理解をしてほしいとか、何かそういうのがあればお聞きしたい。

⇒少し前にバス停の配置については整理をし、相当絞った状態となっている。これを集約することでもう少し減らしていくという準備を新潟市と進めており、榎谷小路の乗り場についても、すっきりしていくのかなと感じている。バスとタクシーについては、それぞれの特色をよく活用しながらやっていくことが必要である。【新潟交通】

○中央区自治協議会委員

・連節バスを通すにあたって、どういう交通規制をしていくのか。

⇒当初は専用走行路を考えていたが、平成 27 年度夏前の開業時は、既存の交通の規制の中で開業したいと考えている。

専用走行路については、開業後の交通の流れの変化を踏まえたくえで実験的なものを作りながら、引き続き検討していく。【市】

○新潟交通観光バス株式会社

・プラン案について、全体の流れがスムーズにいくような形で出来上がってほしいのかなと思う。

・利用者の皆様方がない限り、バスはあり得ませんので、利用者や利用してくださる可能性のある方々とうまく歩調を取り持って事業を継続していければと思う。

○新潟島にバスを走らせる会

・新バスシステムに係る乗り換えについて、利便性が高まっていないと思う。降雪のときなどお年寄りにとっては非常にづらいと思う。検討中ばかりではなくて、きちんと答えてほしい。また、この場合の運賃についてはどうなるのか。

⇒9月に新潟交通と細目協定を締結し、ようやくいろいろなことがお答えできるようになった。

運賃については、今まで直通で行くことができた路線が乗り換えとなる場合、リゅうとカードなどで乗り降りの履歴が確認できれば乗り換えによって初乗り料金は発生しない。

今まで乗り換えずに行けていた路線について、乗り換えによって利便性は低下するが、新バスシステムは、乗り換えによって生じる余力を郊外線に充て、市全体のバス交通を持続可能なものにしていくことを目的としており、乗り換え場所の環境整備については利用者の負担を少なくするよう努めていきたい。【市】

○国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局

・乗り継ぎや結節点、新しい車輛もいろんな視点から利用者にとってどう有益につながっていくのかということになると思う。この会議がプランを決めて終わってしまうものではなく、継続していつてもらいたいと思う。

○新潟中央警察署

・榎谷小路がバス、タクシー、一般車両で大変混みあっているという話があったが、できる部分とできない部分はあるが、本来車を止めること自体で渋滞が生じる。今後バスレーンやタクシーレーンを作るなど、そういった計画も検討していただければと思う。

	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の秩序と円滑化、安全な交通ということで規制を考えてまいりたい。 ○新潟島に循環バスを走らせる会 ・新バスシステムの採算性についてどうなのか。そういう資料をきちんと随時発表する必要があるのではないか。 ⇒収支状況については、毎年確認しながら前に進んでいく形で考えている。何か改善点があればその都度改善していくということで5年間進めていきたいと考えている。【市】
傍聴者	5名
報道	1名